

留学生が先生！

12月14日(火)、オリンピック・パラリンピック教育の1つである国際理解教育の一環として、さくら国際高等学校東京校の国際理解支援事業部が主催する「留学生が先生！」の講演会を行いました。今年度は5カ国の留学生にご来校いただき、各国の基本情報や言語・特色・文化、伝統的な遊びや民族衣装等についてお話していただきました。最後には、日本に留学したきっかけや日本での生活のこと、将来の夢についてもお話していただきました。どのクラスの生徒も熱心に話を聞き、クイズに答えたりしながら、留学生と楽しく交流しました。今回の「留学生が先生！」を通して、多様な文化や価値観への理解を深めるだけでなく、日本の良さを改めて実感し、将来の夢をもつことの大切さも感じる事ができたのではないのでしょうか。

【3A：ネパール】



【3B：タイ】



【2A・D：ロシア】



【2A・D：インドネシア】



【1A：中国】



【ウェルカムボード】



事前学習として、各国のことについてタブレットを活用して、調べ学習を行いました。3年生はタブレットで作成、1・2年生はイラストを活用しながら新聞にまとめました。学年が上がるにつれ、まとめ方に工夫が多く見られます。

【1年生】



【2年生】

【3年生】



《 生徒感想より 》

- 多くの民族や人種の人々と互いに支え合い生活するインドネシアの人々は、人種差別が問題となっている世の中の見本になると思いました。
- 母国のことだけでなく、将来のことについてもお話して下さりとてもありがたかったです。今回の交流が将来の夢を決めるきっかけになればいいなあと思います。